

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

天然素材本来の美しさが際立つ、とっておきの茶筒



本体と蓋の間に樺が帯状に
覗くデザインです。中はすっ
きりとつまみのないタイプ。

帯筒 茶筒（大）

気持ちが良いほどぴったりと気密性の高い角館伝四郎
の茶筒。新たに加わった4つの樹種は、高級家具にも
使用される強度と耐久性のある素材です。着色や模様
を一切付けず、素材が持つ美しさをそのまま生かした
茶筒は、蜜蝋仕上げと細部までこだわり抜いた秀逸な
製品です。シンプルながら驚きがあり、センスの良い
方にも自信を持ってプレゼントできます。

製 造：(株)藤木伝四郎商店

素 材：左からパープルハート／ウエンジノ
シルキーオーク／黒檀

サイズ：直径82×高さ122mm

価 格：本体 16,200円（税込）

monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 「Hile<ハイル>展」8/30（火）まで



9月1日(木)～9月13日(火)

やわらかなかたち展 2

造形デザイナー酒井正氏によるアート作品をご紹介します。
プリミティブでシンプルな色と形は、観る者の想像
力を膨らませます。



9月15日(木)～10月11日(火)

輪島キリモトのテーブル展

100年先まで使えると言われるほど堅牢な輪島塗。地元
では、建具や床壁の建築材としても使われる身近な存在
です。今回は、堅牢かつテクスチャーが美しい輪島キリ
モトのテーブルをご紹介します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当：川田

tel：03-6279-0688

mail：info@monova-web.jp

WEB：<http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

有限会社ツルヤ商店 主催

「Hile<ハイル>展 ～やわらかに寄り添う、籐家具～」を開催！

2016年8月13日（土）～2016年8月30日（火）

これまでの古風な籐製品のイメージを刷新！
北欧テイストの空間にも寄り添える、フレッシュな籐家具をご紹介します。

明治末期創業・山形ツルヤ商店の新作を首都圏初披露

今の暮らしに合わせた小ぶりの籐家具

昭和40年代から50年に掛けて温泉旅館で使われ始めたことに端を発し、一般住宅にも広がっていった籐家具。そのいわば籐家具ブームの頃から、東南アジアの製品が多く出回るようになっていきました。そんななかでも明治末期創業の山形の名店・ツルヤ商店は職人の手仕事にこだわり、時代に流されず、また、時代のニーズに応えながら国産の籐家具を作り続けてきました。今回の展示では、ツルヤ商店の新作である小ぶりの籐カゴをご紹介します。素材を吟味し、籐の素肌が美しく、そしてしなやかで軽量の“ちょうどいい籐かご”です。

【展示内容】

ツルヤ商店の新作 Hileシリーズ・・・乱れかご、脱衣かご、脚付かご

Hile<ハイル>シリーズは、小ぶりの籐のかごです。昔から親しまれてきた籐かごのディテールはそのまま、今の暮らしに馴染むサイズに施しています。ソファの横やベッドサイド、洗濯物の上、テーブルの下、身近な場所にちょこんと置いて、ブランケットやタオル、雑誌やおもちゃなど身の回りのものをおおらかに収納します。

【デザイナー：小野里奈】

宮城県生まれ。1997年東北芸術工科大学デザイン工学部生産デザイン学科卒業後、設計事務所勤務などを経て2001年東北芸術工科大学芸術工学研究科修了。デザイン工学修士。同年スウェーデン国立芸術工芸デザイン大学に留学。

2002年から東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン学科助手を勤め、2007年秋よりフリー。主な受賞歴「2004年富山プロダクトデザインコンペティション グランプリ」「2005年コクヨデザインアワード 審査員特別賞」「2006 MUJI AWARD 01 銅賞」など。

◆有限会社ツルヤ商店◆

有限会社ツルヤ商店は、明治40年に「会田ツル細工店」として創業しました。当時は、アケビなどのツル植物を素材に使った製品を手がけていましたが、その後、安定的に入手できる籐素材にシフトして家具製造を行い、現在では数少ない国産にこだわった籐家具メーカーとして知られています。天然素材である籐を活かし、時代の声に耳を傾けながら、確かなものづくりを届けています。

<http://www.tsuruya-net.com>

－開催概要－ Hile<ハイル>展 ～やわらかに寄り添う、籐家具～

会 期：2016年8月13日（土）～8月30日（火）

10：30 - 19：00／最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：有限会社ツルヤ商店



有限会社 ツルヤ商店

TSURUYA SHOUTEN INC.



Hile



酒井正 主催
「やわらかなかたち展 2」を開催！
2016年9月1日（木）～2016年9月13日（火）

造形デザイナー酒井正氏によるアート作品をご紹介します。
プリミティブでシンプルな色と形は、観る者の想像力を膨らませます。



春の山並み



むかしのえのしま



うみをはしる

生活の中に風景を飾る

造形デザイナー酒井正によるアート作品

造形デザイナー酒井正 (SAKAI tadashi) のアート作品を展示・販売いたします。
日常の風景をモチーフにして切り取られたやわらかなかたちは、油性色鉛筆を使って丁寧に何度も着色され「色」という物質に変化して、新たな風景を創り出します。
毎日生活する空間に飾ることで、いつもの場所で新たな風景を眺めながら心が旅をする時間をつくることのできる、そんな作品の数々をご紹介します。

【展示内容】

Floating on the frameシリーズ

自由なかたちで構成された作品はカラフルに彩られています。抽象的な部分と具象的な部分が組み合わさって、観る者に新しい発見を与えてくれます。

◆酒井正 略歴◆

東京藝術大学大学院デザイン専攻を修了。金属、石、木材、樹脂、紙等あらゆる素材を使って自由に造形活動に取り組む。自然現象を取り入れた動く造形を数多く制作する。近年はよりシンプルな構造と動きで鑑賞者に優しく働きかける作品を目指して制作を続ける。ワークショップ等を開催して身近なところでアートを感じ考える活動も続けている。

<http://art-sakai.com/top.html>

－開催概要－ やわらかなかたち展 2

会 期：2016年9月1日（木）～9月13日（火）

10：30 - 19：00／最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：酒井正

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

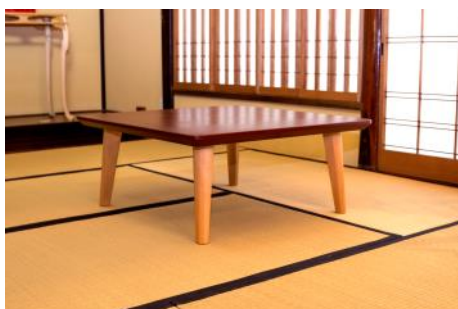
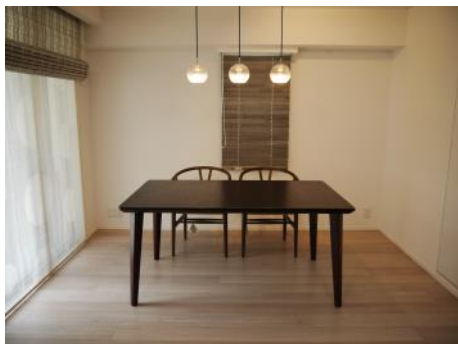
tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

monova 主催

「輪島キリモトのテーブル展」を開催！

2016年9月15日（木）～2016年10月11日（火）

100年先まで使えると言われるほど堅牢な輪島塗。地元では、建具や床壁の建築材としても使われる身近な存在です。今回は、堅牢かつテクスチャーが美しい輪島キリモトのテーブルをご紹介します。



用途に合わせてオーダーできる

暮らしの中にある木とうるし

漆の里である輪島市は、古くから建築材としても漆が使われ、人々と漆が身近なものとして触れ合って生活をしてきました。今でも天井、柱、階段、床などに拭き漆が施されている家が多数存在します。輪島キリモトでは、このように培われた「漆文化」を活用し、日常生活にうるしを取り入れ、現代の暮らしに合った木とうるしの家具の提案を行っています。また、輪島キリモトでは、従来の輪島塗に留まらず、麻布と漆、和紙と漆、珪藻土と漆など、異なる天然素材と漆を組み合わせ、豊かな表現や傷がつきにくい堅牢な仕上げを独自に開発しました。その手触りは優しく、奥行きのある表情が特徴となっています。職人の最高の技術と木と漆の可能性を追求した逸品をご紹介します。

【展示内容】

Module Table Series(モジュールテーブルシリーズ)

用途に合わせて、セミオーダーができる「Module Table Series」です。

天板は、輪島キリモト独自の「漆布みせ仕上げ」となっており、傷がつきにくく、布目の模様が美しく、表情豊かな仕上げです。天板と脚の組み合わせによって、お好みのテーブルへと変わるラインナップになっています。

◆輪島キリモト 紹介◆

輪島の漆器の産地にて江戸から後期から200年以上にわたり木や漆器の仕事に携わってきた桐本家。昭和の初めに朴木地屋として「桐本木工所」を創業。3代目の桐本泰一氏はデザインを学び、木地業の修業を経て、木地業からのデザイン、造形提案など漆器の監修を始める。現代の生活に溶け込む日用品としての漆をテーマに、創作工房「輪島キリモト」を設立。木と漆の持つ可能性に挑戦し続けている。

<http://www.kirimoto.net/>

ー開催概要ー 輪島キリモトのテーブル展

会 期：2016年9月15日（木）～10月11日（火）

10：30 - 19：00／最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

丸和繊維工業株式会社 主催

「丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展」を開催！

2016年10月27日（木）～2016年11月22日（火）

ホテルマン・ドライバー・バーテンダーなど、多くのプロフェッショナルが愛用する丸和繊維の「動体裁断」のシャツ。
メイド・イン・ジャパンの繊細な技術が宿る製品をご紹介します。

INDUSTYLE
TOKYO

動体裁断 動体縫製®



創業60年、丸和繊維工業が追及した

究極の着心地とおもてなしの心

宇宙飛行士の船内被服として採用された実績を持つ、東京墨田区にある丸和繊維工業株式会社。まるでシャツが身体に寄り添ってくるかのような着心地のシャツは、立体裁断にあらかじめ動きの要素を入れた「動体裁断」技術により、いままで感じたことのない着心地から発売以来ファンを増やし続けています。そして今回は丸和繊維の新ブランド、結ばない風呂敷「おつつみ」もご紹介します。また、「つつむ」ための「おつつみ」だけではなく、そのバリエーションに富んだプリント生地と動体裁断を用いたレディース用のフィット感抜群のパンツとのコラボレーションもご覧いただけます。

【展示内容】

1) 動体裁断レディースパンツ×おつつみ

1枚の型紙でつくられる超立体型のパンツは動いた時にスムーズに体にフィットし、形の崩れない美しいシルエットを生み出します。機能性に優れたパンツをロールアップするとオリジナルテキスタイルが覗く粋なデザインです。

2) 【INDUSTYLE TOKYO】動体裁断ニットシャツ

人間の皮膚を研究し開発された、ノンストレスな着心地のニットドレスシャツ。腕を上げても裾が上がらず着くずれしません。

3) OTUTUMI(おつつみ)

「おつつみ」は2016年に特許を取得した、おもてなしの心を布で表現する新しい布ラッピングです。現代のクリエイターが作り出す豊かなデザインの「現」(ututu)や日本の古典的な意匠を現代的に解釈し「粋」を表現した「大江戸」の展開でバリエーション豊かに日本の心「おもてなし」を表現します。

◆丸和繊維工業株式会社 紹介◆

1956年に肌着メーカーとして創業。現在はニット製品の内、主に紳士・婦人・スポーツ・ゴルフウェアの製造販売を行う。2010年宇宙飛行士の山崎直子氏の船内被服に採用される。INDUSTYLE TOKYOが日本独自の精神である「おもてなし」の心から生まれた魅力ある商品・サービスを世界へ発信するプロジェクト「おもてなしセレクション」や全国百貨店の目利きのバイヤーが選ぶ「話題賞」に選定される。

<http://www.maruwa-tex-ind.co.jp>

－開催概要－ 丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展

会 期：2016年10月27日（木）～11月22日（火）

10：30 - 19：00／最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：丸和繊維工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

monova×築き会 共催

monova巡回展01「モノ巡り in 鳥取大山」を2日間の日程で開催！

2016年9月17日（土）・2016年9月18日（日）

2016年8月、monovaは新宿にショールームを立ち上げて5周年を迎えます。
これまでのネットワークを活かし、今度は東京から各地へモノづくりの情報を届けます。



日本各地から地域を代表するモノづくりの情報が集まるmonova、
この秋から、monovaが各地を巡ります

日本の各地のモノづくりを紹介するショールーム“Japan creation space monova”が2011年にスタートしてから5年目。これまで東京・新宿に小さいスペースながら日本の各地のモノづくりを集め、その魅力を伝えてきました。東京には各地から情報が集まります。でも、東京だけで見られるのはもったいない。「各地から集まったものを各地で見られるようにしたい。伝えていきたい。」そんな思いから、monovaの巡回展企画が立ち上がりました。「モノづくりを伝える。」をコンセプトに、5年目を迎えたmonovaは、各地にも日本の魅力的なモノづくりを伝えていきます。

【展示内容】

1) monovaコーナー展示

monovaが新宿で紹介している約30のメーカーの商品を陳列し紹介します。

2) 鳥取県のモノづくり展示

地域の異業種有志が集い、それぞれのモノづくりを紹介します。知ってるつもりで見逃していた地元鳥取のモノづくりをmonovaの目線で集めました。

参加予定企業：築き会、サカモト、谷口・青谷和紙、nido

その他、ワークショップを実施予定。

◆築き会◆

鳥取県西伯郡大山町のUIターン者を中心に活動する任意団体。移住定住の促進、古民家の再生・保存、地域資源の活用とアートある地域活性化を目指しさまざまな取り組み・活動をしている。

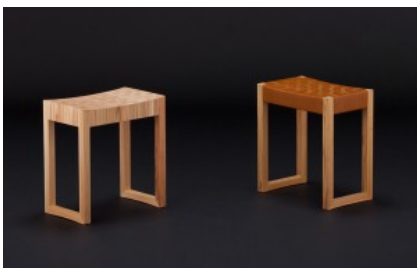
◆ギャラリー大正蔵◆

山陰の田舎町・淀江町に大正8年に建てられた酒蔵。平成4年までは「長年（ながとし）」という日本酒を造っていた場所で、現在はギャラリーやイベントスペースとして活用されている。（オープンは不定期なので要確認） <http://taishogura.weebly.com/>

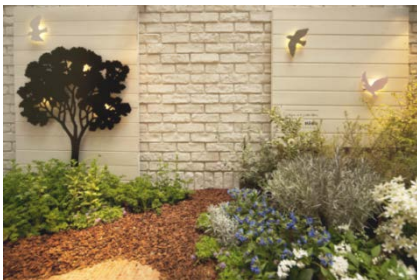
【プレス向け内覧会開催】 9月16日（金）18:00～22:00



谷口・青谷和紙（照明）



サカモト（智頭杉家具）



nido（エクステリア・ガーデン用品）

—開催概要— monova巡回展01「モノ巡り in 鳥取大山」

会 期：2016年9月17日（土）・18日（日）※プレス内覧会：16日（金）

10:30 - 18:00 入場無料

会 場：ギャラリー大正蔵（鳥取県米子市淀江町淀江599）

共 催：Japan creation space monova、築き会

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>